

支援の研修動画カリキュラム

2019年11月版

動画カリキュラムタイトル	学べる内容と実践につながるスキル	再生時間	受講目標	講座受講日	実践期間	振り返り日	感想
はじめに	<b>障害はお子さまにあるのではなく、個と環境の相互作用の中にある</b> 「個人の課題」ではなく「環境との相互作用により生じる」という「障害・困難さ」の捉え方を施設全員でそろえましょう。 「子どもの権利」も知ることで、意図せず権利を制限してしまいうリスクを減らしましょう。						
困難さはどこ？	・障害の捉え方を説明できる ・ICFの考え方を理解する	配信済	4分				
子どもの権利	・子どもの権利条約の概要を理解する ・児童福祉法の理念を理解する	配信済	4分				
関わり方（基礎編）①「環境づくり」 安心して参加・集中できる環境づくり	<b>活動に参加しやすい環境調整ができる</b> 特に、感覚への特性が強いお子さまが多く通われる放デイ・児発では、「環境調整」は支援の土台。なぜその「環境調整」が必要なのか、具体的に何をしたらよいか、実践動画で学びます。						
苦手なもの・気になるものを減らす	・環境づくりの2つの工夫を説明できる ・苦手・気になる可能性があるものを説明できる ・苦手・気になるものがある時の対応を説明できる	配信済	3分				
見通しを提示する	・見通しを説明するときにお子さまが理解しやすい方法を説明する	配信済	4分				
関わり方（基礎編）②「ほめ上手な関わり方」 挑戦する気持ちをつくる、ほめ上手な関わり方	<b>自己肯定感を上げる関わり方が信頼関係をつくる</b> お子さま・保護者さまは、失敗体験の積み重ねから「自己肯定感」が低いことも多々。認め、褒める「自己肯定感を高める関わり方」は信頼関係にも繋がりがやすく、応用行動分析としても「その子にとっても周りにとっても伸ばしたい行動が増える」「できる」につながる根拠のある支援です。						
ほめ上手な関わり方	・ほめ上手な関わり方を知る	配信済	3分				
今できていること・チャレンジしている過程をほめる	・ほめるポイントを説明する	配信済	5分				
お子さま本人が「うれしい！」と思える関わりをする	・いろいろなほめ方を知る	配信済	3分				
関わり方（基礎編）③「伝え上手な関わり方」主体的に活動に参加	<b>集団活動でこそ活きる！「分かりやすい伝え方」</b> なぜかあの先生どうもいく……その理由は「伝え方」にあるかも。特性の強いお子さまにはお子さまにあわせて「伝え方」がとて大切。「できない」「できた」になることも、基本スキルとして指導員全員が身につけると集団活動がスムーズに進む「みんなにわかりやすい伝え方」を実際の支援の様子を見ながら学びます。						
伝え上手な関わり方	・上手な伝え方の3つの関わり方を知る	配信済	3分				
注意を引いてから指示を伝える	・3つの注意を引く方法を説明する	配信済	3分				
短く、具体的に指示を伝える	・短く、1つずつ伝える ・何をすればいいかを具体的に伝える	配信済	3分				
好きなもの・ことを取り入れる	・好きなもの・ことを取り入れて伝える	配信済	3分				
関わり方（基礎編）④「手助け上手な関わり方」 自信をつくる、手助け上手な関わり方	<b>ちよど良い「プロンプト」がたくさんの「できる！」を育む</b> 先生が適切に手助けすることで「できた」を増やし、徐々に手助けなしでもできるようにしていくことが大切。この「手助け」を応用行動分析では「プロンプト」といいます。プロンプトは減らしていくことも大切で、出し続けると自分から活動に取り組み機会が減るリスクも。プロンプトの種類と減らしていくスキルも含めて実際の支援の様子を見ながら学びます。						
プロンプト	・プロンプトについて説明する	配信済	3分				
プロンプトの種類	・プロンプトの3つの種類を説明する	配信済	5分				
プロンプトフェード	・3種類のプロンプトを組み合わせて使う ・プロンプトフェードの説明をする	配信済	2分				
困った行動への関わり方	<b>「なぜその行動を？」の理由を分析、お子さまも周りも楽になる代替手段</b> 他害/自傷・活動への不参加など困った行動がなかなか改善しないときに、経験則、しつけ、叱責ではなく、応用行動分析学の理論を用いた機能的なアプローチができるようになります。発語がない、重度のお子さまの行動の理由を知ることにも有用な分析スキルは、お子さん、保護者の方の過ごしやすさに繋がります。						
STEP1：困っているのは誰？	・困った行動への関わり方の基本方針を理解する	配信済	3分				
STEP1：困った行動への関わり方の概要	・困った行動への関わり方のステップを知る ・今すぐできる対応を知る	配信済	3分				
STEP1：どの「困った行動」を支援するか整理する	・本日に「困った行動」かどうか判断する ・どの「困った行動」を支援するか整理する	配信済	9分				
STEP2：困った行動の機能を分析する①	・行動が増える・続く仕組みについて理解する	配信済	8分				
STEP2：困った行動の機能を分析する②（前半・後半）	・行動の4つの機能を理解する	配信済	14分				
STEP2：困った行動の機能を分析する③（前半・後半）	・お子さまの行動を3つのフレームに整理して、記述することができる ・お子さまの行動の機能を分析することができる	配信済	18分				
STEP3：目標行動を設定する（前半・後半）	・目標行動を設定する2つのアプローチを理解する	配信済	14分				
STEP4：手立てを設定・共有する①～④	・具体的な手立てをストーリーに記入する ・まわりの人と共有し共有理解をはかる	配信済	28分				
STEP5：手立てを見直す	・手立てを見直すフローに従って確認ができる ・「見直した手立て」をまわりの人と共有し、共通理解をはかる	配信済	15分				
支援のPDCA 1（目的とプロセス）	<b>個別の支援計画を立てる目的や保護者さま・お子さまとの信頼関係を築くことの重要性を指導員間で共通認識として持つ</b> 適切な支援の提供と支援の質の向上のためにPDCAの流れを繰り返すことが放デイガイドラインで求められています。PDCAを繰り返す目的や、その方法を知り、日々の支援でPDCAをまわすことができるようになることがこの講座の目的です。						
サービス提供の流れとPDCAサイクル	・支援のPDCAの意味を説明する ・3段階のPDCAサイクルとその流れを説明する	配信済	11分				
保護者さま・お子さまと信頼関係を築く	・保護者さまが来所される前の状況を想像する ・信頼関係を築く4つのポイントを実践する	配信済	10分				
支援のPDCA 2（インテーク・アセスメント）	<b>お子さん自身と環境のアセスメント（情報の収集と分析）ができる</b> 「支援のPDCAサイクル」のスタートは「Plan（支援の計画）」です。適切な支援の計画を立てるためには、お子さま自身・お子さまを取り巻く環境についての情報を集め、分析する必要があります。この「情報の収集と分析（アセスメント）」ができるようになることがこの講座の目的です。						
インテークとは	・インテークの目的と方法を説明できる	配信済	5分				
支援のニーズを把握する	・傾聴をしながらニーズの把握ができる ・「隠れたニーズ」の把握ができる ・情報収集の4つの手段を説明できる	配信済	9分				
初期のアセスメント①目的と手段	・個人情報を扱う際の注意点を説明できる ・情報収集の4つの活用方法を説明できる	配信済	10分				
初期のアセスメント②環境の情報収集	・集めた環境の情報の活用方法を説明できる ・環境の情報を集めることができる	配信済	12分				
初期のアセスメント③個の情報収集（ヒアリング・成果物）	・個の情報として集める内容と支援への活用方法を説明できる ・個の情報をヒアリング・成果物を通して集めることができる	配信済	12分				
初期のアセスメント④個の情報収集（検査所見・行動観察）	・個の情報を検査所見・行動観察を通して集めることができる ・ヒアリングで得られた個の情報を行動観察を通して確認できる	配信済	14分				
初期のアセスメント⑤お子さま個人の情報収集（スキル）	・お子さまの得意なこと・できないことの情報収集ができる ・お子さまの得意なこと・できないことの情報をアセスメント整理シート（スキル版）に記入できる	配信済	21分				
初期のアセスメント⑥初期のアセスメント情報を整理する	・個別の支援計画策定のため初期のアセスメント情報を整理できる	配信済	10分				
支援のPDCA 3（個別の支援計画の策定）	<b>アセスメント（情報の収集と分析）を個別の支援計画と日々の支援に活かす</b> 「情報の収集と分析（アセスメント）」で得られた情報は、個別の支援目標の中で、長期目標・短期目標に位置付けていく必要があります。また、策定会議などで児童館を中心に作られた個別の支援計画は、保護者さま、お子さまとの合意形成を経て、指導員間で共有する必要もあります。お子さまにより個別最適な個別の支援計画を立てていけるようになることがこの講座の目的です。						
個別の支援計画策定の前に	・お子さまと保護者さまの意思を尊重する個別の支援計画を考えることができる	配信済	4分				
長期目標を選ぶ	・お子さま、保護者さまのニーズやQOL・実行可能性の評価などから長期目標を選ぶことができる	配信済	8分				
短期目標を設計する	・長期目標から、短期目標を設計できる	配信済	9分				
個別の支援計画案を作成する	・アセスメント整理シートを基に個別の支援計画案を作成できる	配信済	2分				
個別の支援計画の策定会議	・指導員間で個別の支援計画案について議論し、共通認識が図れる ・策定会議を通じて、最終的な個別の指導計画原案が策定できる	配信済	7分				
第1話 タメ出しの嵐		配信済	2分				
第2話 終わらない会議	会議中の困ったあるある場面への手立てをご紹介！	配信済	2分				
第3話 静かすぎる会議		配信済	2分				
第4話 押し切る会議		配信済	4分				
合意を形成しながら、個別の支援計画をまとめる	・お子さまや保護者さまのニーズをどのように個別の支援計画案へ反映したかを説明し、必要に応じて修正・再確認できる ・合意した個別の支援計画を指導員間で共有できる	配信済	6分				